

2018年度 地域・社会活動 ～活動報告～

◆2018年4月◆

活動日	4月15日（日）
参加イベント名	第7回 新緑の奥武蔵もろやまトレイルラン
活動場所	毛呂山町総合公園
参加者	学生6名

NPO法人 スポーツエイド・ジャパンが主催する「第7回 新緑の奥武蔵もろやまトレイルラン」において、競技参加者へのサポートを行いました。埼玉医科大学など近隣の大学と協力して、競技前にはダイナミックストレッチやテーピングを行い、競技終了後はクールダウンのためのストレッチなどを実施しました。

◆2018年5月◆

活動日	5月5日（土）
参加イベント名	第34回 こどもまつり
活動場所	和光市総合児童センター
参加者	学生6名

和光市社会福祉協議会、和光市総合児童センターが主催する「第34回 こどもまつり」のボランティアスタッフとして、会場設営、駐車場の整理、受付、各コーナーの担当や絵本の読み聞かせなど、イベント運営の補助を行いました。

当日は多くの子ども、保護者のみなさんの参加がありました。子どもたちと近い距離でコミュニケーションを取ることができたことで、学生たちからも「ふだんは子



どもと交流する機会がなかなかないので、とても良い経験になった」との声がありました。

活動日	5月12日(土)
参加イベント名	第7回 春まつり
活動場所	介護老人保健施設 やまぶきの郷
参加者	学生11名

坂戸市にある介護老人保健施設 やまぶきの郷が主催する「第7回 春まつり」のボランティアスタッフとして、施設利用者の介助、イベント運営の補助、模擬店の運営などを行いました。

このイベントには本学学生が毎年、ボランティアスタッフとして参加しています。今年も施設利用者をはじめ、施設スタッフや地域の方々と交流を行うことができました。医療従事者を目指す学生たちにとっては、これらの交流や、ふだん接する機会の少ない高齢者の方々の介助がとても刺激的な経験となりました。「イベントも楽しむことができたので、また参加したい」との声もありました。

活動日	5月12日(土)
参加イベント名	第21回 福祉の里祭り
活動場所	福祉の里(和光市介護老人保健福祉施設)
参加者	学生6名、教員1名

和光市にある介護老人保健福祉施設 福祉の里が主催する「第21回 福祉の里祭り」のボランティアスタッフとして、施設利用者のための食事の準備、付き添い、会場の片づけなどイベント運営の補助を行いました。

本学学生によるこのイベントへの参加は、今年で3年目となります。複数回参加経験のある学生は「毎年楽しく参加している。現場スタッフの方々の働きぶりを見ることができ、貴重な体験だった」と話していました。



活動日	5月19日(土)・20日(日)
参加イベント名	第3回 トレニックワールド 100mile & 100km in 彩の国
活動場所	ニューサンピア埼玉おごせ
参加者	学生21名、教員1名



NPO 法人 小江戸大江戸トレニックワールドが主催する「第3回 トレニックワールド 100mile & 100km in 彩の国」にて、会場設営や各エイドポイントの運営、給水およびエイド食の準備と選手への提供、選手の救護などを行いました。

100mile の部には約 200 名、100km の部には約 400 名のランナーが出場しました。参加学生からは「夜通しの参加だったので大変だったが、スタッフの方々と声を掛け合って助け合い、ランナーを応援することに一体感を感じた」「責任感ややりがいを感じた」「ランナーさんへの『行ってらっしゃい!』の声掛けが無意識にできた。ランナーさんがそれにガッツポーズで応えてくれたとき、参加して良かったなぁと心から思った」など、充実した活動だったとの感想が多く寄せられました。

活動日	5月19日（土）
参加イベント名	第60回 東日本実業団 陸上競技選手権大会
活動場所	熊谷スポーツ文化公園陸上競技場
参加者	学生8名



埼玉県陸上競技会が主催する「第60回 東日本実業団 陸上競技選手権大会」に、補助競技役員として参加し、会場設営、競歩の審判補助、後片付けなどを行いました。

参加学生からは「プロのアスリートを間近で見ることができ貴重な体験だった」「見えないところで選手を支えている人がたくさんいるということを学んだ」「視覚障害レースに出場した選手が良いパフォーマンスをできるように、健常者の方が隣で支えているのを見て、自分も様々な方向から関わっていきたいと思った」などの声がありました。

◆2018年6月◆

活動日	6月3日（日）
参加イベント名	奥武蔵ウルトラマラソン
活動場所	毛呂山町総合公園
参加者	学生6名

NPO法人 スポーツエイド・ジャパンが主催する「奥武蔵ウルトラマラソン」において、競技参加者へのサポートを行いました。競技前にはダイナミックストレッチやテーピングを行い、競技終了後はクールダウンのためのストレッチなどを実施しました。

活動日	6月16日（土）
参加イベント名	英語による川越観光案内
活動場所	川越一番街周辺
参加者	学生7名、教員1名



本学の英語クラブが中心となり、川越を訪れる外国人観光客の方々に英語で観光案内を行いました。ま

ず「川越城」「蔵造」「時の鐘」という3つの観光名所について説明をし、そのあとで外国人観光客からの質問に答えるという形式でコミュニケーションを取ることができました。

活動日	6月30日(土)
参加イベント名	認知症サポーター養成講座
活動場所	日本医療科学大学 4号棟
参加者	学生12名、教職員18名、一般8名

本学の保健医療学部 看護学科が中心となり、厚生労働省オレンジプラン（認知症対策）の事業である講座を、毛呂山町役場の後援を受けて実施しました。

大学祭と同日に開催し、学生や教職員をはじめ、近隣住民の方々からも参加をいただきました。有資格者であるキャラバンメイトによる講義、啓発ビデオの聴講、事例紹介などを受け、講座終了後は出席者に対し、認知症サポーターの証である「受講証」「オレンジリング」を配布しました。

キャラバンメイトから多くの事例の紹介があり、参加者からも「理解しやすかった」との感想がありました。若い世代が認知症に関する理解を深める良い機会となりました。

◆2018年7月◆

活動日	7月8日（日）
参加イベント名	第7回 トレニックワールド in おごせ・ときがわ 50km & 30km
活動場所	ニューサンピア埼玉おごせ
参加者	学生14名、教員1名

NPO 法人 小江戸大江戸トレニックワールドが主催する「第7回 トレニックワールド in おごせ・ときがわ 50km & 30km」にて、会場設営や各エイドポイントの運営、給水およびエイド食の準備と選手への提供、選手の救護などを行いました。



50km の部には約 350 名、30km の部には約 400 名のランナーが出場しました。「前回（4月）のトレイルランボランティアの経験を生かし、より良いサポートができたと思う」「参加者の方々からお礼の言葉を直接聞くことができ、役に立っていることを実感できてとても嬉しかった」など、参加学生たちにとっても充実感のある活動となりました。主催者側からも「NIMS の学生が応援の声を出してくれたことで『元気をもらえた』と、選手からも感謝の声があった」とのお言葉をいただくことができました。

活動日	7月14日（土）・15日（日）
参加イベント名	わくわくサマーキャンプ
活動場所	小川げんきプラザ
参加者	学生1名、教員1名

和光市青少年相談員協議会が主催する、小学生対象の宿泊事業である「わくわくサマーキャンプ」のボランティアスタッフとして、埼玉県比企郡にある施設でハイキング、カレー作り、レクリエーションゲーム、ボンファイヤー、クラフト体験などのサポートを行いました。

当日は猛暑による厳しい環境でしたが、熱中症対策に気を配り、無事に活動を終わることができました。参加学生からは「班のリーダーを任せられ、子どもたちと一緒に楽しむだけではなく、注意すべきところはしっかり注意することが必要であるとわかり、とても良い経験になった」との感想がありました。



活動日	7月21日（土）
参加イベント名	BLS・救急対応に関する講習
活動場所	日本医療科学大学 4号棟
参加者	教員1名

NPO 法人 小江戸大江戸トレニックワールドが主催する BLS（1次救命措置）や救急対応に関する講習のサポートを行いました。講習ではまず、BLS、AED（自動体外式除細動器）および救急対応に関する講義を受け、その後、受講者がいくつかのグループに分かれて実技演習や意見交換を行うというものでした。

活動日	7月26日(木)
参加イベント名	平成30年度 ハイキングのまちおごせ 健康長寿プロジェクト 健康長寿講座
活動場所	越生町中央公民館
参加者	教員1名

越生町がすすめる「越生町健康長寿プロジェクト」の一環として、本学では2016年度から「健康長寿講座」を担当することになりました。今回はその第1回目として、「若々しく身体を維持する秘訣 ～フレイル予防と運動の重要性～」と題し、ハイキング(歩行運動)のメリットや、身体機能を維持していくために自宅でできる簡単な運動の指導などを行いました。講座には78名の方にご参加いただきました。

活動日	7月30日(月)
参加イベント名	平成30年度 腰痛予防講座
活動場所	飯能市総合福祉センター
参加者	教員1名

飯能市が主催する腰痛予防講座にて、運動器疾患(ロコモティブシンドローム)に代表される腰痛をテーマに、その原因や日常生活の中で取り組める予防策などに関して講演を行いました。講座には42名の方にご参加いただきました。

◆2018年8月◆

活動日	8月6日（月）
参加イベント名	平成30年度 腰痛予防講座（実技編）
活動場所	飯能市総合福祉センター
参加者	教員1名

7月に実施した講座の実技編として、姿勢や足腰の機能低下のチェック、自宅で簡単に行うことができる骨力・筋力アップ体操などを参加者に体験していただきました。講座には40名の方にご参加いただきました。

活動日	8月18日（土）・19日（日）
参加イベント名	坂戸・夏よさこい
活動場所	坂戸駅 周辺
参加者	学生34名



坂戸市で毎年夏に開催されているよさこい祭りで、本学学生34名が演舞を披露しました。

活動日	8月21日（火）・22日（水）
参加イベント名	平成30年7月豪雨 岡山県災害ボランティア 平成30年7月豪雨 広島県災害ボランティア
活動場所	岡山県倉敷市、広島県三原市
参加者	学生1名

7月豪雨の被害を受けた倉敷市と三原市を訪れ、災害ボランティアとして被災者宅のがれき撤去、家財の搬出、屋内清掃などのお手伝いを行いました。

参加学生は「テレビで見ていたよりも被害がひどくて驚いた。テレビで得られる情報はわずかなのだということを知り、現地に直接行って体感することの大切さを知った。被災者の方ともだんだん打ち解けることができ、最後に『ありがとう』を言ってもらえたので、少しでも力になれたことを実感できてとても嬉しかった」と話していました。

活動日	8月21日（火）
参加イベント名	環境教育講座「わくわく！！アリランド！！」
活動場所	日本医療科学大学 2号棟
参加者	学生7名、教員4名

本学のサークルである環境調査隊が主体となり小学生を対象に、本学周辺で採集したアリ（9種）の観察、これまでの調査結果の紹介や、アリの種名当てクイズなどを実施しました。

学生たちは生物の進化や生理、発生、環境およびそれらの関連について理解を深めることができたと同時に、イベントの企画・運営とプレゼンテーションの経験を積むこともできました。



活動日	8月25日(土)
参加イベント名	けやきフェスタ よさこい in 府中
活動場所	府中駅、大国魂神社
参加者	学生20名



府中市で開催されているよさこい祭り
で、本学学生20名が演舞を披露しました。

当日は「パフォーマンス賞」をいただく
ことができました。

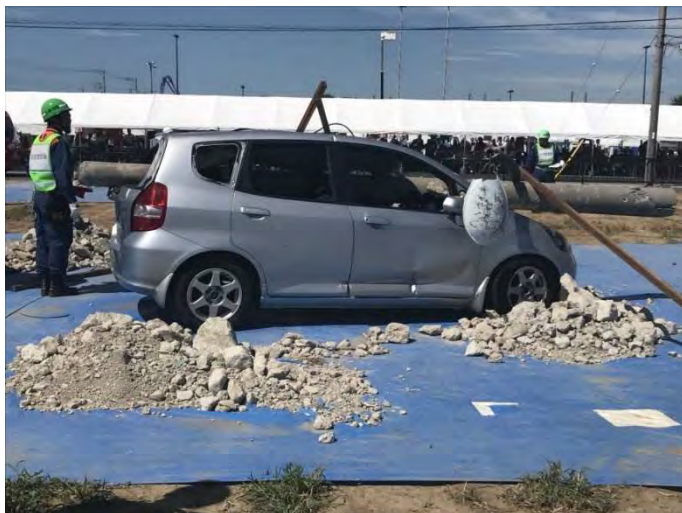


活動日	8月25日(土)
参加イベント名	日本ムコ多糖症患者家族の会交流会
活動場所	新横浜国際ホテル
参加者	学生9名、教員1名

日本ムコ多糖症患者家族の会の交流会において、ご家族のシンポジウム参加中に、患児およびそのきょうだい児の安全管理、必要に応じておむつ交換や水分補給なども実施しました。患児やきょうだい児の遊び相手になったり、身の回りのお世話や寝かしつけを行ったり、学生ごとに割り当てられた役割を終えることができました。

活動日	8月26日（日）
参加イベント名	平成30年度 埼玉県・蓮田市総合防災訓練 (第39回九都県市合同防災訓練埼玉会場)
活動場所	蓮田市総合市民体育館
参加者	学生30名、教職員3名

埼玉県・蓮田市総合防災訓練に、傷病者役のボランティアとして参加しました。78の関連団体が参加する埼玉県内でも最大規模の防災訓練であり、県内の大学としては、本学と人間総合科学大学が参加しました。



住民による救護救出や倒壊建物からの救出、救助犬による捜索活動など状況別にブロック分けがなされ、学生たちは配置されたブロックで指定された傷病者を演じました。被災者の気持ちの理解や、各職種の役割、連携の重要性などを学ぶことができました。

訓練終了後には企画展示などにも積極的に参加し、多くの刺激を受けることができました。



◆2018年9月◆

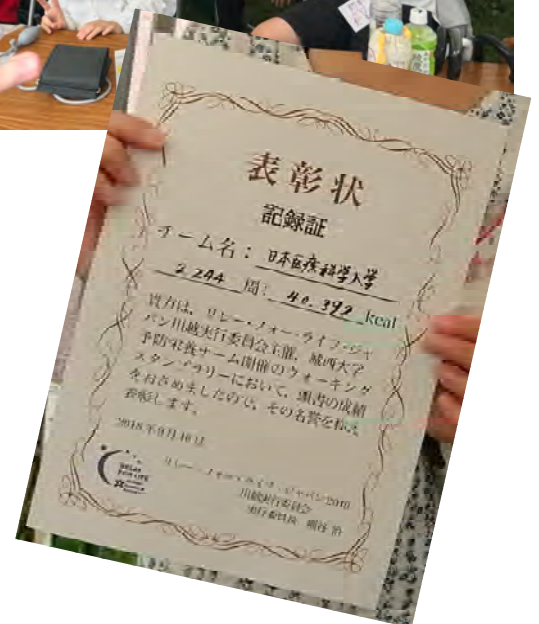
活動日	9月9日（日）
参加イベント名	第6回 トレニックワールド in 外秩父 50km & 43km
活動場所	寄居市役所、ゆーパーク越生
参加者	学生14名、教員1名



NPO法人 小江戸大江戸トレニックワールドが主催する「トレニックワールド in 外秩父 50km & 43km」にて、会場設営や各エイドポイントの運営、給水およびエイド食の準備と選手への提供、選手の救護などを行いました。

50kmの部、30kmの部にそれぞれ約350名のランナーが出場しました。「トレニックワールド」でのボランティア活動については参加が2回目以上となる学生もあり、最初から積極的に他スタッフと交流する姿も見られました。初めて参加した学生からも「初めての活動でうまく動けなかったところもあったが、スタッフの方たちと協力して選手のサポートができたことはとても良い経験になった。やる事が多くてあっという間だった」「初めてのボランティアで戸惑っていたが周りのみなさんが優しく温かく指導してくださり、話しかけてくれたため、とても楽しく安心して活動できた。また、マラソンを頑張る人の姿を見て大きな刺激を受けた」などの声がありました。

活動日	9月15日(土)・16日(日)
参加イベント名	第10回 リレー・フォー・ライフ・ジャパン 川越 2018
活動場所	川越水上公園
参加者	学生32名、教員9名



川越水上公園を会場に、24時間にわたってたすきをリレーする「リレー・フォー・ライフ・ジャパン川越」にて、ブースを出して参加者のケアを行いました。「リレー・フォー・ライフ」とは地域社会全体でがん征圧を目指し、がんサバイバー、現在闘病されているがん患者、ケアギバー(家族、遺族、支援者)らが夜通し交代で歩き、勇気と希望を分かち合うチャリティイベントのことです。このイベントは世界各国で開催されています。

本学のブースでは、MRIの画像についての説明や乳癌ファントムの体験、握力測定や血圧計測などを行いました。

活動日	9月22日(土)
参加イベント名	しいの木祭 2018
活動場所	城西大学附属 城西中学・高等学校
参加者	学生 24名



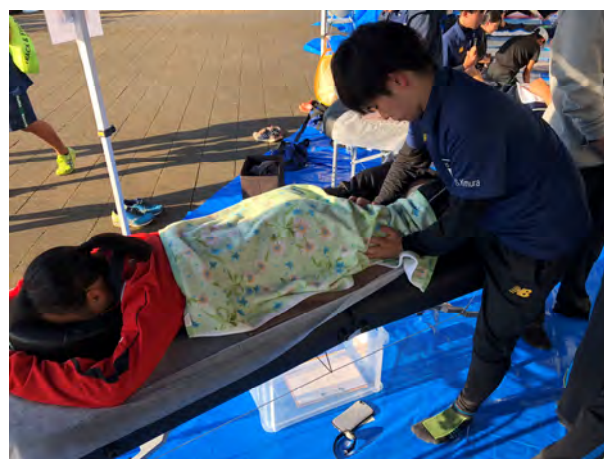
城西大学附属 城西中学・高等学校の文化祭にて本学学生 24 名が初日のステージでよさこいの演舞を披露しました。



活動日	9月26日(水)
参加イベント名	初級・中級介護予防サポーター養成研修
活動場所	大泉町保健福祉総合センター
参加者	教員 1名

群馬県邑楽郡大泉町の町民 20 名に対して、転倒予防のための運動、「高齢者の暮らしを拓げる 10 の筋力トレーニング」の意義やその方法などについてレクチャーを行いました。

活動日	9月27日（木）～29日（土）
参加イベント名	平成30年度 埼玉県高等学校新人陸上競技大会
活動場所	熊谷スポーツ文化公園
参加者	学生55名、教職員4名 ※3日間延べ人数



第73回 埼玉県新人陸上競技選手権大会にて、コンディショニングブースを担当しました。本大会には、埼玉県の地区大会を勝ち抜いた161校（2,299人）が参加し、初日と3日目は雨で肌寒い日となりましたが、場内は選手たちの熱気に包まれ、ブースには毎日多くの来場がありました。3日間の利用者は延べ236人にのぼり、予想を上回る数の方々に利用いただくことができました。利用者からは、「痛みが軽減された」「体のケアだけでなく、心も落ち着いた」等の感想をいただきました。

活動日	9月29日（土）・30日（日）
参加イベント名	第3回 COEDO 川越ランニングフェスタ in 川越水上公園
活動場所	川越水上公園
参加者	学生3名、教員1名

本学学生と教員が、「COEDO 川越ランニングフェスタ」でのエイドスタッフおよびエイド食調理担当

を務めました。24時間走と12時間走の各種目で、エイドポイントでの給水
およびエイド食の準備、調理、選手への提供、救護などを担当しました。

参加学生たちは「天候が悪い中でも、みんなが
大会を盛り上げようと一致団結していたのがとても
印象的だった」「今回は裏方のお手伝いがメイン
だったが、見えない人たちの支えの大切さを改めて
感じた。食材の切り方や並べ方まで、選手の方々を
気遣っていてとても驚いた。大変だったが良い経験
になった」などと感想を述べていました。



活動日	9月29日(土)
参加イベント名	鶴ヶ島市障害者生活介護施設きいちご 第3回 きいちごパーティー
活動場所	鶴ヶ島市障害者生活介護施設きいちご
参加者	学生18名、教員1名



埼玉県鶴ヶ島市にある障害者生活介護施設の感謝祭イベント「きいちごパーティー」にて、イベント運営のボランティアとして受付、利用者の介助や対応、ゲームコーナーや屋台での販売のサポートなどを行いました。

本学は第1回目より、このイベントにボランティアとして参加しています。参加学生からは「介助や飲み物の販売などを通してコミュニケーションを取り、来てくれた方が笑顔になってくれたことが嬉しか

った」「ありがとうと言われるたびに、今日参加して良かったなと思った」「施設のスタッフの方々の細やかな気遣いやコミュニケーション能力の高さに驚いた。今後はもっと気を利かせて自分から動けるようになりたい」といった感想が寄せられました。

◆2018年10月◆

活動日	10月17日（水）
参加イベント名	よさこいサークル日本医療連 光山小学校全校集会演舞披露
活動場所	光山小学校
参加者	学生17名、教職員2名



毛呂山町立光山小学校の校長先生よりご依頼をいただき、よさこいサークルの学生が朝の全校集会において、演舞を披露しました。

活動日	10月20日（土）・21日（日）
参加イベント名	第18回 坂戸よさこい
活動場所	坂戸市内
参加者	学生17名、教員1名

本学のよさこいサークルを含め多くのチームが参加する中で、給水所の設営、踊り子や一般来場者への提供、ゴミの分別指導や片づけ等を行いました。本学の学生たちがリーダーシップを取って活動に取り組むことができました。

「どのチームの踊り子さんたちも全力で楽しそうに踊っていて、見ていて気持ちが良かったし、お茶を渡すと必ず笑顔でお礼を言ってくれて嬉しかった」「楽しみながらボランティアに参加でき、5時間という時間があっという間に感じた」などの感想がありました。



活動日	10月28日(日)
参加イベント名	第41回 奥武蔵もろやま仰天ハーフマラソン
活動場所	毛呂山町総合公園
参加者	学生21名、教員1名



NPO法人 スポーツエイド・ジャパンが主催する「奥武蔵もろやま仰天ハーフマラソン」において、エイドステーションでの給水所の設営や、選手に対する飲み水の提供などを行いました。また、選手に対して、他大学の学生と連携しながらストレッチなどを中心にコンディショニングを行いました。

参加学生たちは「選手の方がお礼を言ってくれたときには人の温かさを感じることができ、嬉しくなった」「ランナーの方に『良いエイドだなあ』と言ってもらえたときにやりがいを感じた」などと話していました。

◆2018年11月◆

活動日	11月3日(土)
参加イベント名	第41回 日本スリーデーマーチ
活動場所	東松山第一小学校
参加者	学生4名、教員1名

埼玉県東松山市で開催されたウォーキングイベント「日本スリーデーマーチ」にボランティアスタッフとして参加しました。朝のあいさつ運動、参加者の誘導、中学生ボランティアへの指導などを行いました。

ボランティア活動終了後は、スリーデーマーチ5kmの部にも参加しました。参加学生からは「参加者の気持ちを考えて声を掛けることの大切さを感じるボランティアだった」「ボランティアや市の職員の方が思っていたよりもたくさんいて、こんなにも多くの方が地域の行事に協力しているんだなぁと感じた。これからも感謝の気持ちと挨拶を忘れずに過ごしていきたい」などの声がありました。



活動日	11月17日(土)・18日(日)
参加イベント名	平成30年度 関東高等学校駅伝競走大会
活動場所	熊谷スポーツ文化公園
参加者	学生19名、教員3名

男子第71回・女子第27回 関東高等学校駅伝競走大会 兼 女子北関東・南関東ブロック代表選考会が熊谷スポーツ文化公園で行われ、9月に行われた埼玉県新人陸上競技選手権大会に引き続き、本学学生および教員が、コンディショニングブースを担当しました。

利用者からは「丁寧に対応していただき、大会に向け良い状態ができた」「短い時間でしたが、体がすごく楽になりました」「話をして、リラックスできとても良かったです」などの感想をいただくことができました。

本学学生も大学で学んだことが実践でき、貴重な経験を積むことができました。



活動日	11月18日(日)
参加イベント名	戸田マラソン in 彩湖 2018
活動場所	彩湖・道満グリーンパーク
参加者	学生5名

埼玉県戸田市で開催されたマラソンのボランティアスタッフとして、救護所の設営と撤収、救護班としての活動やごみ拾いなどを行いました。

参加学生からは「ボランティアとして現役の医師や看護師さんと話ができいい経験になった」「医師・看護師の方の様子を見て、患者対応について勉強になった。これからのボランティアや実習、臨床に生かしていきたい」などの声がありました。



活動日	11月25日(日)
参加イベント名	小江戸川越ハーフマラソン
活動場所	川越水上公園
参加者	学生15名

ハーフマラソン出場者に対し、他大学の学生と連携しながらストレッチなどを中心にコンディショニングサポートを実施しました。

◆2018年12月◆

活動日	12月3日(日)
参加イベント名	第23回 加須こいのぼりマラソン
活動場所	加須市民運動公園
参加者	学生2名、教員1名

埼玉県加須市で開催されたマラソン大会に、競技役員として参加し、記録書発行書の運営などに携わりました。

このイベントでのボランティア活動は本学としても初めてでしたが、「正確さと素早さが求められる作業で、本人確認の大切さを学べた。この経験は将来、臨床で生かせると思った」と、参加学生にとっても学びの多い体験となりました。



活動日	12月5日(水)
参加イベント名	平成30年度 ハイキングのまちおごせ 健康長寿プロジェクト 健康長寿講座
活動場所	越生町中央公民館
参加者	学生17名、教員2名

越生町がすすめる「越生町健康長寿プロジェクト」の一環として、本学では2016年度から「健康長寿講座」を担当することになりました。今回は越生町に住む高齢者の方々を対象に、「自宅でできる簡単エクササイズ ～健康な身体を維持するために～(座位編)」と題し、実技指導を中心に行いました。講座には43名の方にご参加いただきました。

参加学生たちは、運動指導の補助を行ったり、頭の体操として一緒にゲームを楽しんだり、参加者と交流しながら活動を行いました。

「臨床実習の後だったので、実習の成果を出せた気がする」「地域リハビリの役割が理解できた」など前向きな感想が多く寄せられました。



活動日	12月9日（日）
参加イベント名	第4回 さいたま国際マラソン 兼 ドーハ 2019 世界陸上競技選手権大会 日本代表選手選考競技会 兼 マラソングランドチャンピオンシリーズ 2018-2019 ～東京 2020 オリンピック日本代表選手選考競技会～
活動場所	さいたまスーパーアリーナ
参加者	学生 20 名、教員 1 名

本学学生と教員が、第4回さいたま国際マラソンにおいて、救護班 BLS（1次救命措置）隊として参加しました。2名1組でコース上に立ち、緊急時には緊急通報、心肺蘇生、AED等の措置を行うほか、軽症者に対してはコースの安全を確保したうえで応急手当を実施、中等症者に対しても応急手当や搬送を行う、という役割が中心でした。参加者は全員、事前に行われたオリエンテーション（救急救命士によるレクチャー）に出席したうえで当日の活動に臨みました。



当日は重大な事故が発生することなく、無事に活動を終えることができました。「ランナーの真剣な姿

を見て感動した」「大勢の人に支えられて運営ができており、その中の一人として加われたことが良い経験になった」「今後もいざというときには、今回学んだ知識を生かして冷静に対応できるようになりたい」など、緊張感のある環境の中で、学生たちも貴重な経験ができました。

活動日	12月12日（水）
参加イベント名	平成30年度 ハイキングのまちおごせ 健康長寿プロジェクト 健康長寿講座
活動場所	越生町中央公民館
参加者	学生18名、教員2名

越生町がすすめる「越生町健康長寿プロジェクト」の一環として、本学では2016年度から「健康長寿講座」を担当することになりました。今回は越生町に住む高齢者の方々を対象に、「自宅でできる簡単エクササイズ ～健康な身体を維持するために～（立位編）」と題し、実技指導を中心に行いました。参加学生たちは、運動指導の補助を行ったり、頭の体操として一緒にゲームを楽しんだり、参加者と交流しながら活動を行いました。講座には41名の方にご参加いただきました。

活動日	12月23日（日）
参加イベント名	第11回 年の瀬マラソン
活動場所	所沢航空記念公園
参加者	学生19名

NPO法人 スポーツエイド・ジャパンが主催する「第11回 年の瀬マラソン」において、競技参加者へのサポートを行いました。他大学の学生と連携しながらストレッチなどを中心にコンディショニングサポートを実施しました。

◆2019年1月◆

活動日	1月4日（金）
参加イベント名	武蔵越生七福神めぐりウォーキングイベント
活動場所	法恩寺および旧東上閣
参加者	学生6名、教員1名

越生町で開催されたウォーキングイベントで、越生町保健センターとの連携事業として、高齢の参加者を対象とする健康調査を行いました。これは参加者のウォーキング前後の唾液の採取を行い、健康長寿指標となるホルモンを測定することで、ウォーキングによる健康増進の効果について検証するというものです。

実際にウォーキングに参加し、他の参加者の方々と交流を行った学生もいました。「地域住民の方と良い関わりを持てて、楽しかった」「教科書には載っていない、新しい知識を得ることができた」など、参加学生たちも各々の感想を述べていました。



活動日	1月12日（土）
参加イベント名	和光市総合児童センター 新春もちつき大会
活動場所	和光市総合児童センター
参加者	学生8名

和光市総合児童センターが主催する餅つき大会のボランティアスタッフとして、会場設営、参加者誘導、調理補助、お餅の配布、後片づけ等を行いました。

学生たちからは「自分が小学生だった頃を思い出した。またやりたい」「子どもに対して、わかりやすい言葉で話すことは意外と難しいと思った。この経験は医療従事者としての将来に役立つと思った」などの声がありました。



◆2019年2月◆

活動日	2月2日(土)
参加イベント名	川の再生交流会
活動場所	さいたま市民会館うらわ
参加者	学生2名、教員1名

本学のサークルである環境調査隊が8月に実施した環境教育講座「わくわく!!アランド!!」の内容について、埼玉県主催の「川の再生交流会2019」においてポスターセッションによる発表を行いました。イベントには約400名の方が来場し、本学の発表内容にも多くの方々に興味を持っていただくことができました。

活動日	2月19日(火)～22日(金)
参加イベント名	ひばり保育園スキー保育
活動場所	NASPA スキーガーデン、旅館みよし
参加者	学生13名

本学の学生が、保育園が主催する3泊4日のスキー保育にボランティアスタッフとして参加しました。スキー保育リーダーとして、年長児44名と一緒にスキーや雪遊びを楽しみました。「子どもの吸収力、成長に驚いた」「想像以上に大変で、保育士の仕事の大変さの一部を知る良い機会となった」「子どもたちと一緒に達成感を味わうことができた」などの感想が多く、参加学生たちにとっても刺激的な経験となったようです。

活動日	2月16日(土)
参加イベント名	小川赤十字病院災害救護訓練

活動場所	小川赤十字病院
参加者	学生 15 名、教員 1 名

埼玉県比企郡にある小川赤十字病院で、病院スタッフを対象として実施された、災害時における急性期の医療救護の実践的、応用的訓練に、本学学生が傷病者役として参加しました。

この訓練への参加は 7 回目となります。

参加学生からは「医療現場で働く方々の様子を実際に見ることができて大変勉強になった。何を基準に動くのか、どのくらいの時間で動けるようになるのが目標か、など、その場にいる



だけでもたくさんのことを学べた」「救護の現場の緊張感が伝わってきた。とても臨場感のある訓練だった。いろいろな知識も増えたので良い経験になった」などの感想がありました。

活動日	2月23日(土)・24日(日)
参加イベント名	第9回 小江戸大江戸 200k フットレース
活動場所	川越市
参加者	学生 3 名、教員 1 名

NPO 法人 小江戸大江戸トレニックワールドが主催する「第9回 小江戸大江戸 200k フットレース」にて、会場設営や各エイドポイントの運営、給水およびエイド食の準備と選手への提供、選手の救護などを行いました。

200km、230km、91km、113km の各コースに、合計で 800 名を超える選手が参加しました。「前のボランティアで一緒だった方が覚えていてくれて声をかけてくれたことが嬉しく、また参加したいと思った」「200km というとても長い距離を、



選手の方がみんな楽しそうに走っていたのが印象的だった。選手とボランティアとの間に絆のようなものが生まれているのも感じられた」など、他のボランティア参加者や選手たちとの交流によって、学びを

得た学生が多かったようです。

◆2019年3月◆

活動日	3月10日（日）
参加イベント名	市制60周年記念 第8回 草加松原太鼓橋ロードレース大会 2019
活動場所	草加小学校
参加者	学生3名、教員1名

埼玉県草加市の草加小学校をスタート・ゴールとする市内の特設コースで行われたレース大会のボランティアスタッフとして、3000名を超えるレース参加者のための参加賞セットの作成や提供の作業を中心に行いました。

「仮装をした人や小さな子どももたくさん参加していて、見ている側も楽しめた。来年はぜひ走者として参加してみたい」と話す学生もいました。



日本医療科学大学では今後も引き続き、地域・社会活動を通じて学生たちの思いやりの心、リーダーシップを養うとともに、地域のみなさまとのつながりを大切にしていきます。